

第2回 ゼロカーボン研究会事後調査報告

1. アンケート回収状況

- ・自治体：参加者 16 名中 16 名回収（回収率 100%）
- ・民間：参加者 22 名中 14 名回収（回収率 64% ※傍聴人含む）

2. 第2回ゼロカーボン研究会について

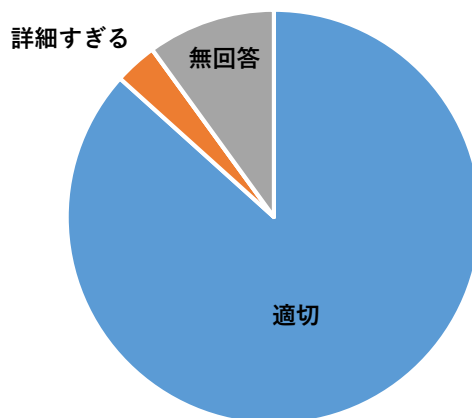
(1) テーマ「省エネルギーの推進について」に関して

- ・30 名中 26 名（87%）がテーマの選定について「適切だと思う」と回答した。
- ・少数だが、テーマが「詳細すぎる」（より大まかなテーマ設定にしたほうがよい）との回答もあった。
- ・自治体と民間で、回答構成の違いはほぼなかった。

【表1 回答一覧表（テーマに関して）】

単位：人

	適切	詳細すぎる	概略すぎる	無回答	合計
自治体	13	1	0	2	16
民間	13	0	0	1	14
合計	26	1	0	3	30



【図1 回答構成（テーマに関して）】

(2) 時間配分に関して

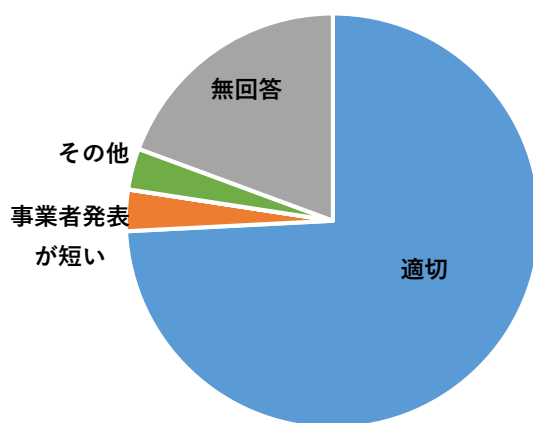
- ・30名中23名(77%)が時間配分について「適切だと思う」と回答した。
- ・少数であるが、「事業者発表が短い」、「その他(事例を多く出すのであれば短い)」との意見もあった。
- ・自治体と民間で、回答構成の違いはほぼなかった。

【表2 回答一覧表(時間配分に関して)】

単位：人

	適切	事業者発表 が短い	事業者発表 が長い	意見交換 が短い	意見交換 が長い	その他	無回答	合計
自治体	10	1	0	0	0	1	5	17
民間	13	0	0	0	0	0	1	14
合計	23	1	0	0	0	1	6	31

※複数回答可の設問であり、表中の合計が30人とならない。



※複数回答可の設問であり、グラフの割合は、説明文中の割合と合致しない。

【図2 回答構成(時間配分に関して)】

(3) 参加の感想に関して

- ・30名中19名(63%)が「具体的ではないが何かの対策に活かしたい」と回答した。
- ・30名中5名(17%)が「具体的な対策に活用したい」と回答した。
- ・対策に活用したい※という回答は、自治体では75%(12名/16名)、民間では86%(12名/14名)あった。

※「具体的ではないが何かの対策に活かしたい」「具体的な対策に活用したい」の合計

- ・30名中5名(17%)が「対策にはつながらないが勉強になった」と回答した。
- ・具体的な対策内容として、以下の回答があった。

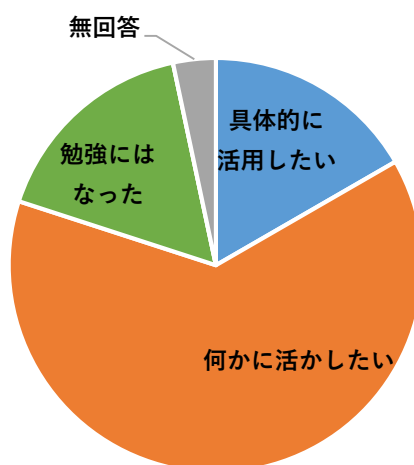
- ・庁舎内、街路灯の照明器具のLED化の検討。
- ・庁舎のLED化、省エネ化の検討を進める際の参考にしたいと思う。
- ・公共施設における省エネ施策として、LED化100%を目指したい。
- ・地域温水供給ビジネスに、ESCOやリース方式の適用を検討したい。

※一部回答は、内容を考慮し、「4.その他ご意見」(p.5)に記載している。

【表3 回答一覧表(参加の感想)】

単位：人

	具体的に活用したい	何かに活かしたい	勉強にはなった	参加前と変わらない	無回答	合計
自治体	3	9	4	0	0	16
民間	2	10	1	0	1	14
合計	5	19	5	0	1	30



【表3 回答構成(参加の感想)】

3. 次回以降の研究会テーマについて

- ・「地域新電力」は、自治体における優先度が高く（回答数1位）、全体でも最も回答の多いテーマであった。
- ・「蓄電」は、民間における優先度が高く（回答数1位）、全体でも2番目に回答の多いテーマであった。
- ・「水素」は、自治体、民間ともに回答数が2番目に多く、全体でも3番目に回答の多いテーマであった。
- ・「その他」には、以下の回答があった。

- ・アンモニア
- ・各自治体の課題
- ・地域熱供給による地域全体としての GHG 削減
- ・個々の技術ではなく、交通機関の GHG 削減、都市づくり等

【表4 回答一覧表（次回テーマ、回答数順）】

単位：人

順位	自治体		順位	民間		順位	合計	
1	地域新電力	9	1	蓄電	5	1	地域新電力	13
2	太陽光	6	2	水素	4	2	蓄電	11
2	バイオマス	6	2	地域新電力	4	3	水素	10
2	水素	6	4	太陽光	3	4	太陽光	9
2	蓄電	6	4	水力	3	4	EV	9
2	EV	6	4	EV	3	6	バイオマス	8
2	RE100	6	4	その他	3	6	RE100	8
8	省エネ	3	8	省エネ	2	8	省エネ	5
9	風力	2	8	バイオマス	2	8	水力	5
9	水力	2	8	RE100	2	10	風力	3
11	その他	0	11	風力	1	10	その他	3

4. その他ご意見

- ・岡大の先生が言われていたように、補助金の活用について提案があると、より活用しやすくなって助かる。
- ・国からの情報提供の時間があっても良いと思う。
- ・太陽光発電における自然環境・災害・住民感情等の対策について、水素における実現性（費用等）について、地域新電力設立に向けての手続きプロセスについて、それぞれテーマとして希望する。
- ・中国電力さんの話を聞いてみたい（再エネ、地域新電力など）。
- ・公共施設の省エネ・再エネについて、具体的な種別ごとの効率的な方法について。
- ・再エネ新電力設立の実例、設立の流れ、活用補助金等を、設立会社の方から話を伺いたい。
- ・最終エネルギーの50%を占める熱利用を如何に削減するか？
- ・岡山大学様の意見にもあった補助金について、ゼロカーボン関係の活用できる補助金について情報を知りたいと思う。
- ・補助金が活用できる条件、範囲について教えてもらいたい（資料を添付してもらいたい）。
- ・行政様の事業計画策定にあたり、官民対話はお互いに有効だと考えている。
- ・ソーラーシェアリングも検討してほしい。
- ・カーボンニュートラル 2050 年、中間段階 2030 年の GHG 排出削減の方針、ビジョンの説明会と討議を希望。本研究会のベースになるものと考えている。その後、ロードマップに関して、関係参加者の提言など討議する。
- ・参加自治体での現状の課題の出し合いが必要かと思う。その課題を解決する方法を具体的に考えたい。
- ・省エネ、再エネ、断熱を組み合わせれば、ゼロカーボンは達成できるので、総合的にやっていければと思う。

※「(3)参加の感想に関して」(p.3)における一部回答は、回答内容を考慮し、上記に記載している。